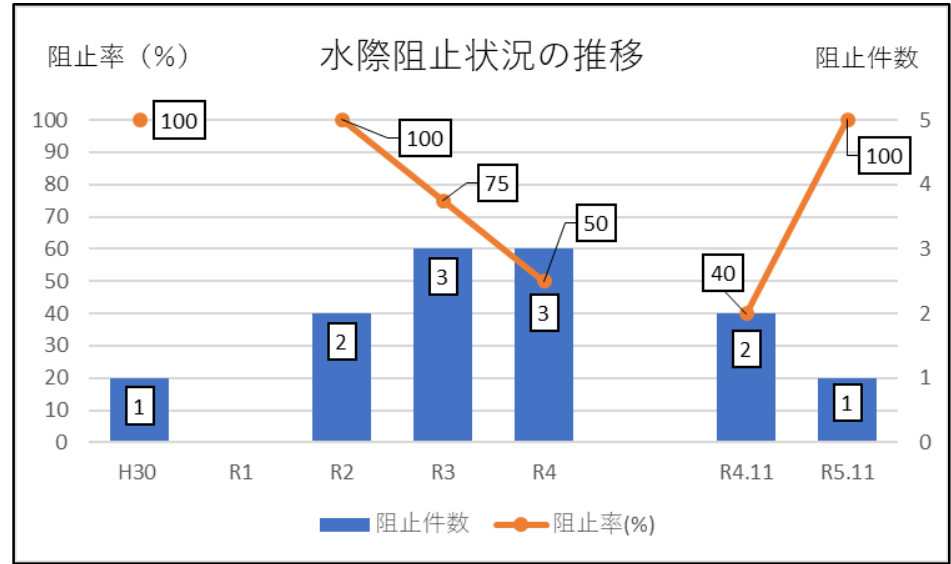
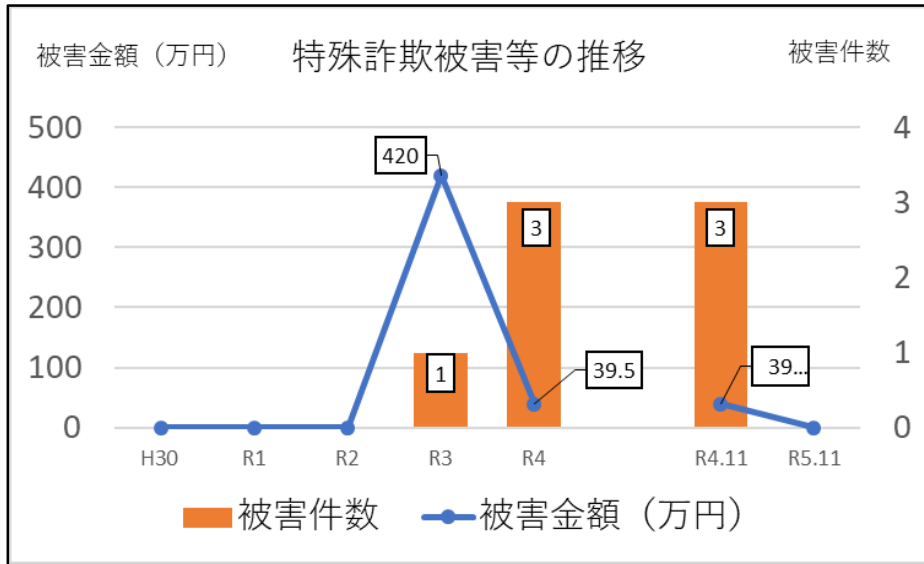


特殊詐欺被害を撲滅するための官民連携による騙されないための啓発や水際阻止対策の推進と管内流入被疑者の徹底検挙

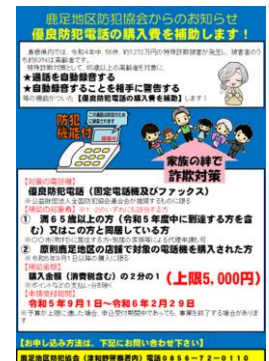
現状と課題

- 令和5年は特殊詐欺の被害件数、被害金額は県内で増加した一方、管内では減少
- 阻止率は令和2年から令和4年まで減少傾向にあったものの、令和5年は増加



具体的取組

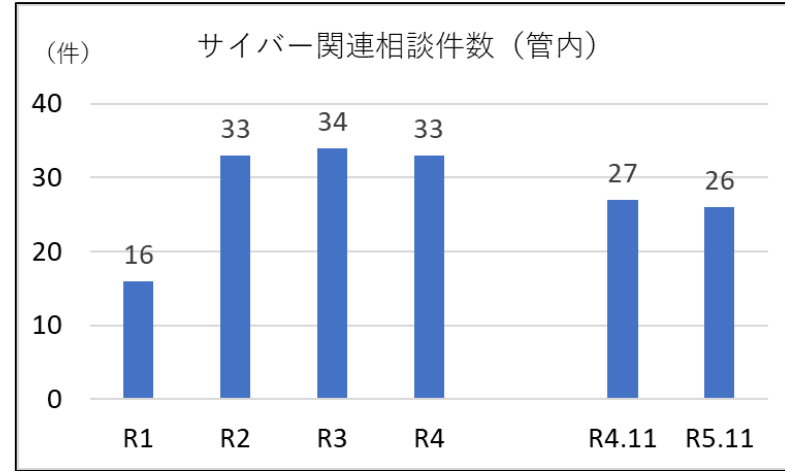
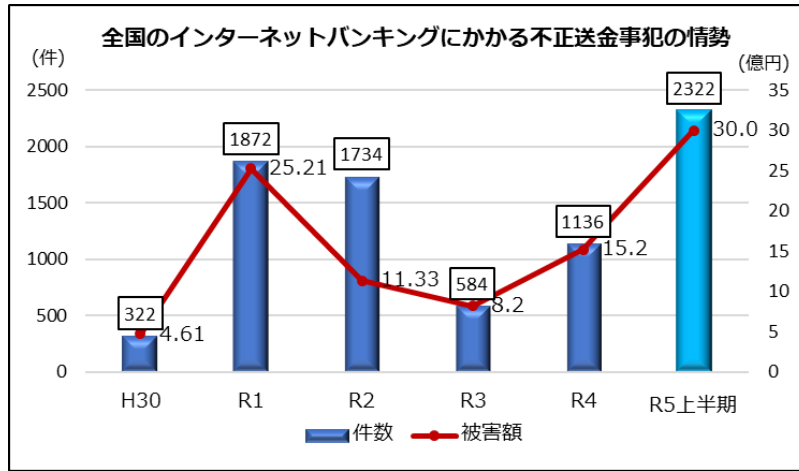
- ① 犯行手口の周知等の効果的な広報啓発活動や優良防犯電話の普及等、騙されないための対策の推進
- ② 金融機関、コンビニエンスストアでの声掛け等、関連事業者との連携による水際阻止対策の強化
- ③ 管内に入ってきた受け子等や指示役、首謀者等の徹底検挙
- ④ 口座凍結・固定電話利用停止等の犯行ツール対策の推進



悪質・巧妙化するサイバー犯罪の検挙と 官民連携によるサイバーセキュリティの強化

現状と課題

- インターネットバンキングの不正送金被害が全国で過去最多
- ランサムウェア被害や重要インフラに対するサイバー攻撃事案が頻発
- 県内でサイバー関連相談件数が近年増加傾向



具体的取組

- ① 捜査員の育成及び職員全体の対処能力の向上や人的基盤の強化
- ② 被害の潜在化を防止するための適切な通報・相談への対応
- ③ サイバーパトロールの強化等によるサイバー犯罪の取締りの徹底
- ④ 住民、事業者等のサイバーセキュリティ意識の醸成と被害防止対策の推進

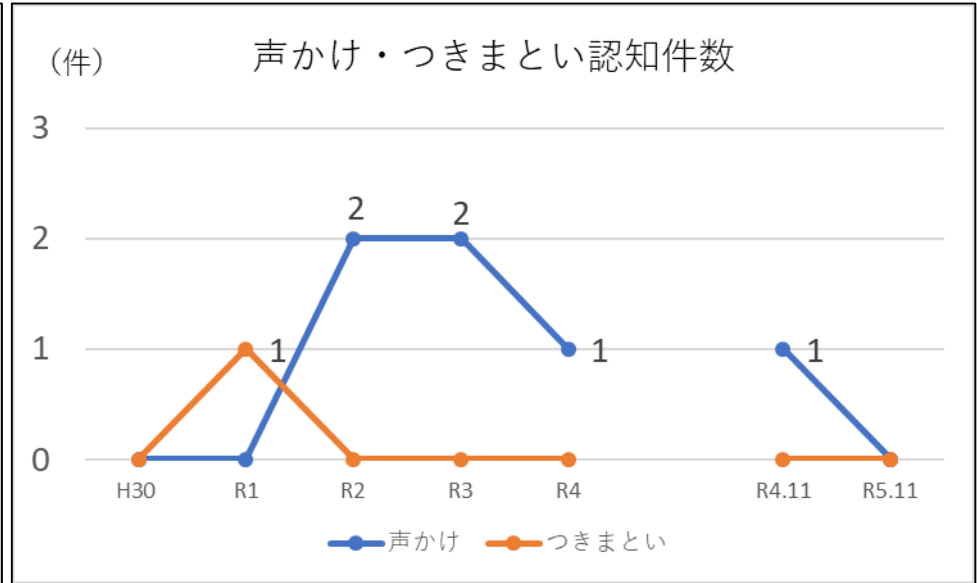
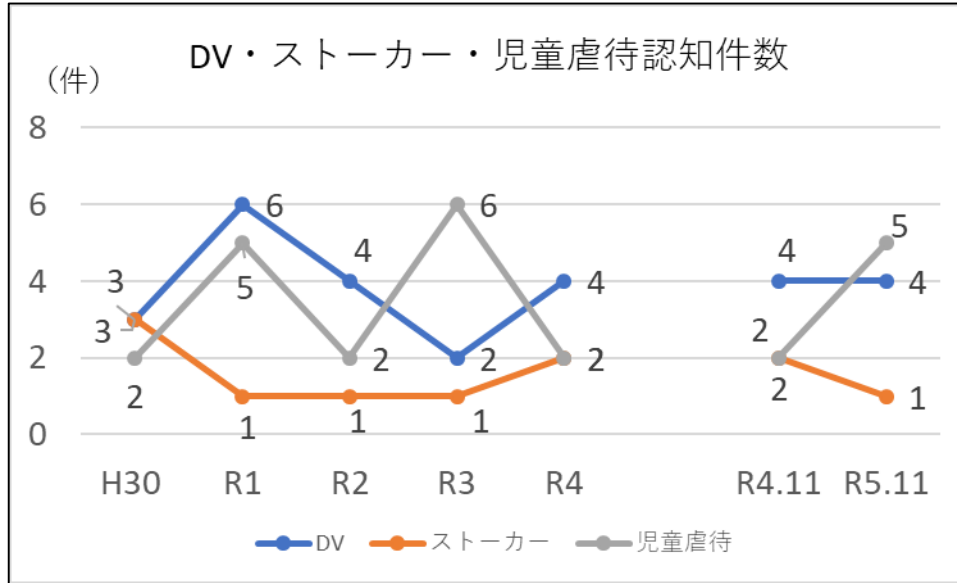


サイバー防犯ボランティア委嘱式及び研修会

DV、ストーカー、児童虐待等における被害者保護の徹底及び性犯罪等の未然防止に向けた活動の推進

現状と課題

- DV、ストーカー、児童虐待全体の認知件数が増加傾向
- 声掛け、つきまといの認知件数は減少傾向にあるものの、重大事案に発展する可能性が高い。



具体的取組

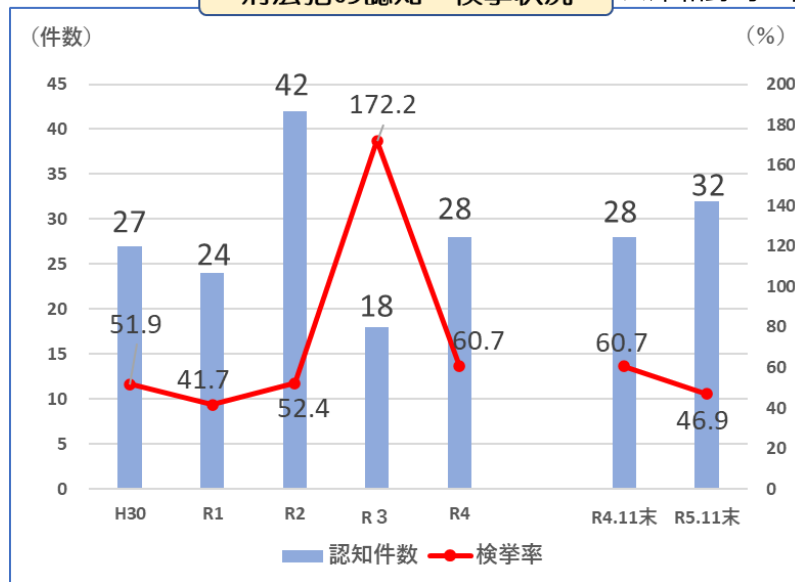
- ① 被害者の安全確保を最優先に、関係機関と連携した保護対策、加害者への警告や検挙等を徹底
- ② DV、ストーカー等の加害者に対するカウンセリングの勧奨等、再犯防止に向けた取組の推進
- ③ 声掛け、つきまとい等の性犯罪の前兆事案行為者に対する警告措置や検挙の徹底
- ④ 声掛け、つきまとい等の発生時におけるメールや有線放送等を活用した迅速な情報発信

殺人・強盗等の住民に不安を与える重要犯罪の徹底検挙と 構造的な不正事案の摘発

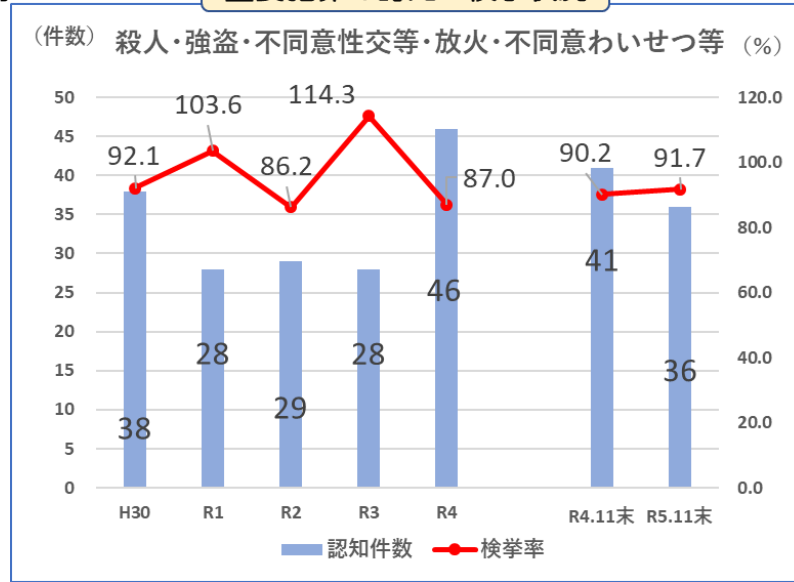
現状と課題

- 管内では令和3年から刑法犯認知件数が増加傾向
- 県下では県民が特に不安を感じる強盗や性犯罪等が依然として発生

刑法犯の認知・検挙状況 ※津和野町・吉賀町



重要犯罪の認知・検挙状況 ※島根県下



※ 令和5年の数値は暫定値

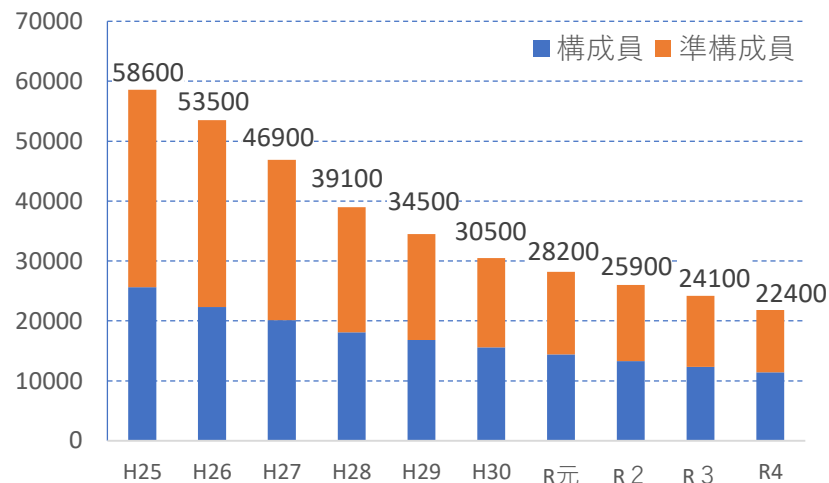
具体的取組

- ① DNA型鑑定や防犯カメラの画像解析等による殺人や強盗等の重要犯罪の早期検挙
- ② 贈収賄事件や経済的不正事案等の徹底検挙と厳正、公正な選挙違反取締りの徹底

暴力団等の犯罪組織を壊滅するための実態解明と取締りの徹底及び官民一体となった排除活動の推進

現状と課題

- 全国的に暴力団構成員は減少傾向にあるものの、暴力団の対立抗争事件が依然発生
- 県内でも、松江市を警戒区域として特定抗争指定暴力団等を指定
- SNS等を通じた緩やかな結びつきにより特殊詐欺等を行う「匿名・流動型犯罪グループ」が、犯罪によって得た収益を基に、更なる違法活動や風俗営業等の事業活動に進出



全国の暴力団構成員等の推移

具体的取組

- ① 官民一体となった暴力団排除活動の推進と取締りの徹底
- ② 「匿名・流動型犯罪グループ」の組織実態の解明と取締りの強化
- ③ 犯罪収益の移転防止と剥奪の推進



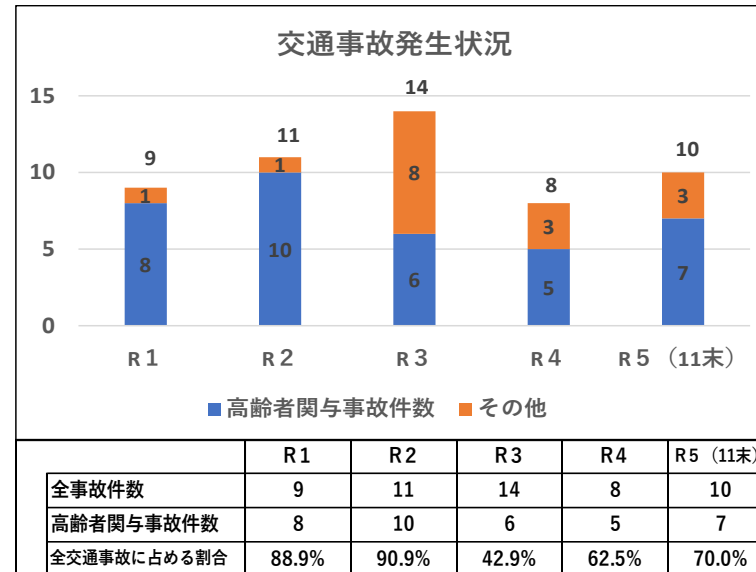
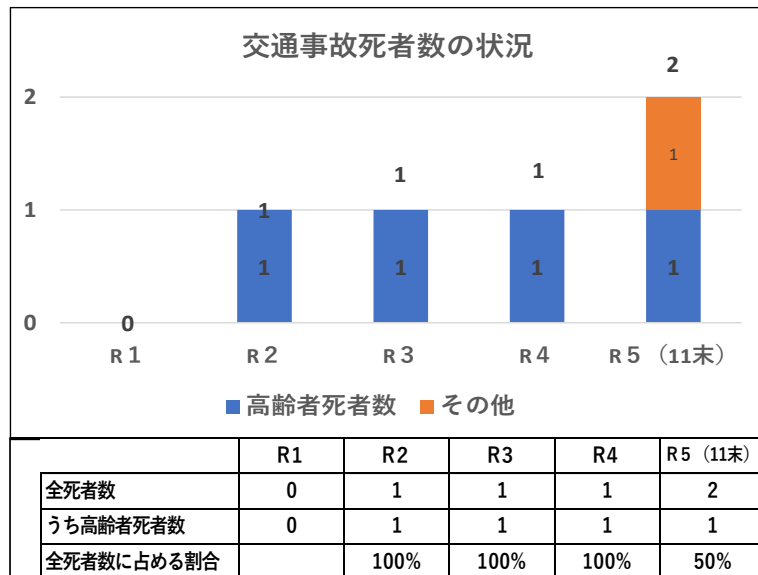
暴力追放・銃器根絶島根県民大会

高齢者が関与する交通事故を防ぐための

総合的な対策の推進

現状と課題

- 交通事故件数は、近年、多少の増減はあるもののほぼ横ばいの傾向で、高齢者が関与する事故件数は高率で推移



具体的取組

- ① 交通事故発生状況に応じた交通指導取締り等の交通街頭活動の推進
- ② 体験型の交通安全教育等による交通安全意識の啓発と安全運転サポート車（サポカー）の普及促進
- ③ 高齢者講習と安全運転相談等による高齢運転者に対する教育・支援



交通安全教育車体験

交通実態に応じた交通規制の合理化と

交通安全施設の適切な維持管理の推進

現状と課題

- 場所によっては交通量や交通事故の減少により交通規制の必要性が低下
- 道路整備の進展に伴う交通安全施設の量的拡大と老朽化の進行

主な交通安全施設	設置数
信号機	27基
道路標識	約1,300本

令和5年12月末現在



信号機



道路標識



道路標示

具体的取組

- ① 地域の交通量の減少や道路環境の改善に応じた地域の交通実態のきめ細かな把握
- ② 交通安全施設の老朽化に対応した定期的な点検や計画的な修繕と更新の推進
- ③ 交通実態の変化により必要性の低下した交通規制の見直し

要人や標的となり得る施設に対する

テロ未然防止対策の推進

現状と課題

- 世界各地でISIL等の過激思想に影響を受けたテロが発生
- 国内では、令和4年7月に安倍元総理銃撃事件、令和5年4月に岸田総理に対する爆発物使用襲撃事件が発生
- 特定のテロ組織等と関わりのない個人が過激化する、いわゆるローン・オフエンダーによるテロ等の違法行為の発生が懸念

具体的取組

- ① 治安情勢を踏まえた的確な要人警護
- ② 重要インフラ事業者との共同訓練等、官民一体となったテロ対策の推進
- ③ 継続的な訓練による対処能力の向上



警護訓練

大規模災害等の緊急事態に的確に対処するための 対処能力の向上と関係機関との連携強化

現状と課題

- 全国的に自然災害は局地化・激甚化の傾向
- 県内でも近年、大雨による水害、土砂災害が各地で発生
- 北朝鮮による弾道ミサイル等の発射が懸念

具体的取組

- ① 平時からの防災関係機関との連携強化
- ② 各種訓練による対処能力の向上
- ③ 緊急事態発生時における迅速・的確な住民の保護活動の展開



警備本部設置訓練



指揮機能移転訓練

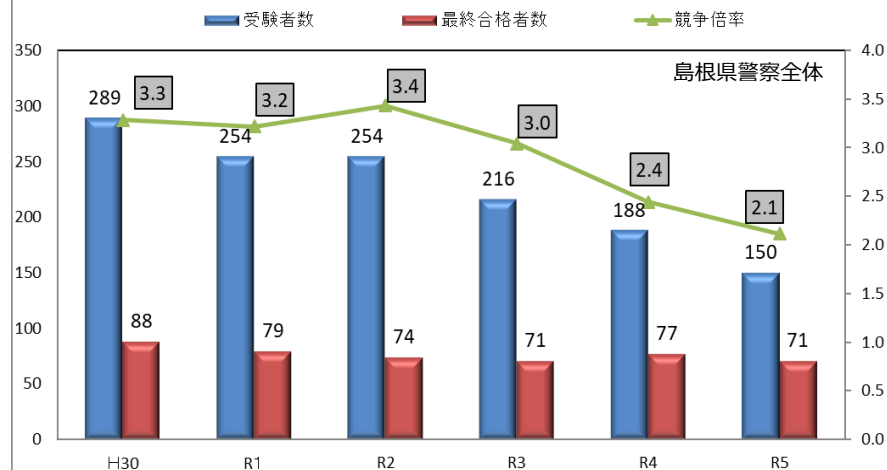
優秀な人材を確保するための

警察業務の魅力発信と採用募集活動の強化

現状と課題

- 若年人口の減少等により、人材獲得競争が激化
- 警察官採用試験の受験者数は過去5年で半減
- 受験者数の減少に伴い、競争倍率も低下

警察官採用試験(男女合計)の実施状況



具体的取組

- ① 警察官という仕事の魅力・やりがいや職場環境に関する情報の積極的な発信
- ② 管内の高校生等を対象としたオープンポリスやSNS活用等の多角的な働き掛けの推進
- ③ 将来の受験者確保に向けた、小中学校の児童、生徒等を対象とした職業体験イベント等の実施



高校生の職業体験における座談会



小学生の職業体験

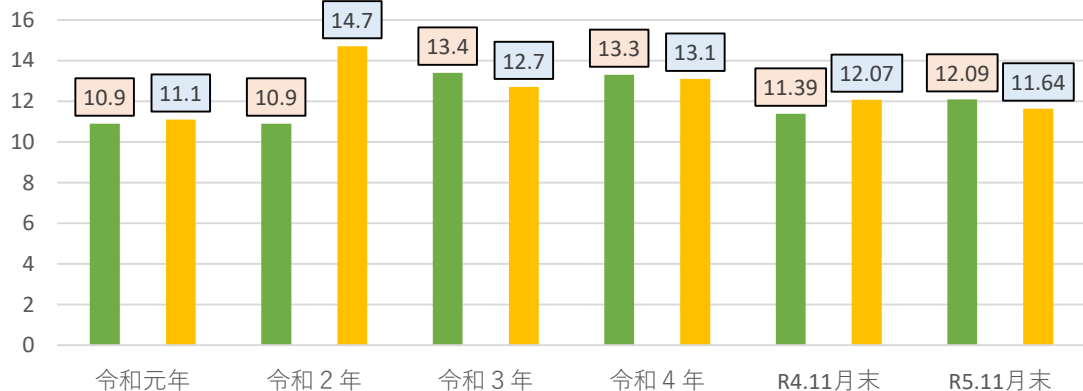
組織運営の合理化とワークライフバランスの充実による 働きやすい職場環境の形成

現状と課題

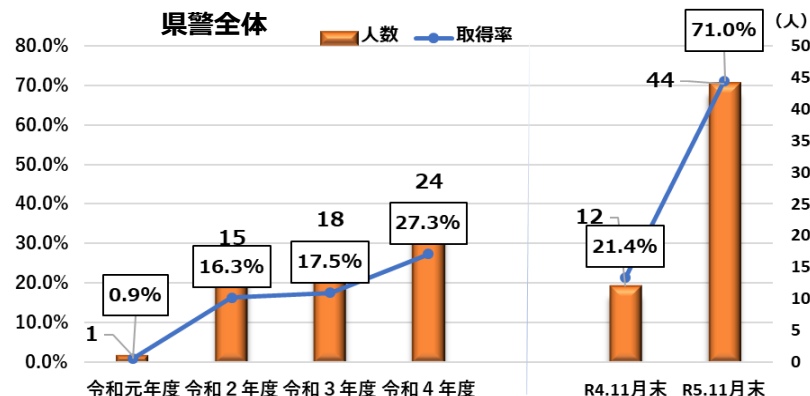
- 年次有給休暇の平均取得日数は近年、増加傾向にあるものの、島根県特定事業主行動計画の目標値15日には達していない。
- 男性職員の育児休業取得率は、令和5年度に大幅に上昇
- 仕事と育児・介護等の両立を支援し、職員が長く働き続けられる職場環境づくりが必要

年次有給休暇平均取得日数

県警全体（左）、津和野警察署（右）



男性職員の育児休業取得状況



具体的取組

- ① 各種休暇取得の促進、時間外勤務の縮減、時差出勤の活用等、仕事と家庭の両立に向けた職場環境づくりの推進
- ② 各種健康診断やストレスチェック、ピアサポート制度等のメンタルヘルス対策等、職員の健康維持施策の推進
- ③ ハラスメントのない職場環境づくりの推進
- ④ 業務の見直しやデジタル技術の活用による業務の効率化、省力化の推進



福利厚生施策の推進等署員が働きやすい職場環境の充実



職員によるハラスメント教養の開催